



耕作放棄地の現状と課題について 市斎場の現状について

池森 のり子 議員



耕作放棄地の現状と課題

質問 耕作放棄地のクレーム対応について伺います。

答弁 雑草のクレーンは、農業委員会が対応しており、所有者などに農地の適正管理をお願いする通知を送付しています。

質問 所有者に寄り添った対応について伺います。

答弁 毎年8月頃に農地の利用状況を調査し、その結果により、所有者などの意向を踏まえ、貸付支援を行うなど、引き続き遊休農地の解消に努めていきます。

要望 先進事例を調査し、農業委員や農協と連携し、遊休農地の活用で具体的なモデルケースを示すなど耕作放棄地の解消と地域農業の活性化に繋がる仕組みの構築を要望します。

質問 斎場利用者からの声について伺います。

答弁 指定管理者の接遇は好評ですが、一方、夏季の告別ホールの暑さや、庭園の管理が行き届いていないという意見もあります。

質問 告別ホールにエアコンを設置する考えはあるのか伺います。

答弁 利用者の身体的負担が限られる一は市内路線の拡充で改善されますが、「運行頻度が少ない」は運行本数を増やさなければ解決しません。運行本数を増やす上での課題は何ですか。



地域公共交通計画について

篠木 正明 議員



質問 来年度が地域公共交通計画の最終年度になりませんが、バス路線の再編はどこまで進んだのですか。

答弁 計画では広域路線を整理し、市内生活路線の拡充をしていくものとして整理します。広域路線は3路線に整理することを掲げ、現在3路線での運行となってい

ます。市内生活路線は2路線から13路線に拡充することになっており、現在9路線で運行しています。

質問 計画に「既存路線だけでは運行地域が限られる」とともに、運行頻度も少なく、公共交通の充実した地域とは言えない現状」と書かれています。「運行地域

軽減のため、今後検討していきたいと考えています。

要望 利用者の快適さと安全性を考慮し、早急にエアコンの設置を要望します。

質問 駐車場における高齢者の負担軽減や利便性の向上について伺います。

答弁 高齢者にとって駐車場が遠い点は認識しており、今後、国道122号バイパスの延伸計画に伴う駐車場の区画見直しと併せて検討したいと考えています。

意見等 南側庭園の半分を

ていると思います。委託料算定の中で人件費を増やすことが必要だと思いますが、どう考えますか。

答弁 処遇改善について、運行会社と協議するとともに、会議の中で議題にするなど改善に努めていきたいと考えています。

質問 賃金の基は市の委託料です。会社の責任ではなく、市の責任として委託料の中で人件費をもっと多く算定すべきだと思えます。路線バスを補完する交通手

駐車場にすることで、身障者用、住職用、思いやり駐車場が確保でき、利用者の利便性が向上します。また、庭園面積の縮小で維持コスト削減できます。国道の延伸計画に合わせた駐車場の区画見直しの際には、高齢者に配慮した配置となるよう検討してください。



段として、タクシーの効果的な活用があります。タクシー券は交付枚数増や用途制限廃止など前進はしました。しかし、1枚500円では自己負担が多くて利用できないという声があります。複数枚利用と交付枚数増はできないのですか。

答弁 複数枚利用は受益者負担の考え方からすると適したものではないと考えています。枚数増もすぐに実現する状況にはないと考えています。